

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376100174
事業所名	グループホーム 小原安立

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入している。地域住民代表と地域貢献委員会を発足し、通学時間帯の交通安全活動や環境美化活動を行う等、積極的に地域活動を実践し地域の一人として根差している。生け花や書道等のボランティアの定期的な受け入れをして、地域住民との繋がり継続に努めている。住民からの入居相談には随時適切なアドバイスをして専門知識を生かし貢献している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 推進会議は民生委員、包括支援センター職員、家族代表で構成し、書面開催を含め年6回実施している。事業報告、身体拘束適正化委員活動報告、事故ひやりはっと事例を報告し、ホームの実情を参加者へ周知すると共に、活発な意見交換の場として活用している。会議で挙げた意見は職員に周知、検討、改善に向けて取り入れる仕組みがあり、サービス向上に繋げている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市介護保険課には介護更新手続き等で窓口に向く機会があり、ホームの実情を周知し関係性を深めている。市主催の研修の案内が届き、「介護技術」「医療」「レクの手法」等の研修の参加があり、職員の育成に繋げている。西三河ブロックのグループホーム連絡協議会や運営委員会の参加を通じて、意見交換、情報収集をして協働関係を深めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 定期的に「ホームより」たりや毎月個別のお便りを発行し、利用者の日常の様子を写真やコメントを寄せて活動内容を報告している。些細な事でも電話連絡で現況報告し、信頼関係の構築やサービス改善に努めている。また家族面会は予約制を設け、安心して面会できる環境を整備し利用者や家族の関係性が途切れない様に支援している。家族より日用品の管理や、不足時の連絡方法やタイミング等の意見が出た際は、職員間で検討し改善に向けて専用の連絡票を作成し、改善に繋げる事ができた。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								